

◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロンヘアークラックバリアー工法 吹付仕上【溶剤仕様】 (新築):0.1mm追従仕様				
◇適用	普通コンクリート・普通プレキャストコンクリート・軽量 I 種プレキャストコンクリート				
◇使用材料	下塗	アンダーコートPCW			15.0 kg/缶
	中塗	ボンフロン#1000HB中塗		主剤 硬化剤	15.0 kg 3.0 kg
		ボンフロンシンナー		シンナー	16.0 l/缶
	上塗	ボンフロン#1000SR上塗		主剤 硬化剤	12.5 kg 2.5 kg
		ボンフロンシンナー		シンナー	16.0 l/缶

工程	使用材料	調合		希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗 回数	塗装間隔(23°C)		施工方法
		主剤:硬化剤					工程内	工程間	
素地調整	・被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。								
1	下塗	アンダーコートPCW(全面塗り)	—	清水 100	0.10~0.15	1	3h以上 ~ 8h以内		ローラー
2	下地 調整材	アンダーコートPCW(全面塗り) ^{注3}	—	清水 0 ~ 5	0.60~0.80	1	16h以上 ~ 7日以内		低圧エアレス ^{注5・6}
3	中塗	ボンフロン#1000HB中塗	15 : 3	専用シンナー 10 ~ 40	0.13 ~ 0.18	1	16h以上 ~ 7日以内		スプレー ローラー エアレス
4	上塗	ボンフロン#1000SR上塗	12.5 : 2.5	専用シンナー 10 ~ 30	0.14 ~ 0.17	1	-	-	スプレー ローラー ^{注4} エアレス
合 計						4			

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛、ローラー	80~100
エアレススプレー	80

注2) 塗装間隔の時間は、雰囲気温度が23°Cでの結果を記載しております。
従って、実施工においては現地の雰囲気によって変動します。

注3) アンダーコートPCWは、標準所要量を下回りますと意匠的には仕上がりますが、十分な耐久性能が得られなくなります。標準所要量を厳守してください。

注4) 艶消し、3分艶、5分艶、7分艶のローラー塗装は光沢ムラが生じるため、避けてください。

注5) 事前に塗り重ね部分のムラなども含め仕上り意匠を確認してから施工してください。

注6) 低圧エアレス推奨機種

	メーカー	機種
本体	精和産業産業(株)社製	マルチスプレーヤー MS-6000
ノズル	(株)アトマックス	アトマックスノズルCNP200B-ISL
		精和産業エアレスガン取付けアダプター

注7) シール部には塗装しないでください。(割れ等が発生します。)

※水性塗料を使用する際は、低温下の凍結・素地の含有水量・降雨等で造膜不良を生ずる恐れがありますので
作業環境には充分注意して作業を行ってください。

※別紙の特記事項は、必ずお読み下さい。